

定植直前ジベレリン処理によるリンドウの株養成期間の短縮

福島県農業試験場会津地域研究支場
平成12~15年度春夏試験成績概要
分類コード 05-25-18000000

部門名 花き一リンドウ一作型・栽培型
担当者 菅野清・江川孝二・小林祐一

I 新技術の解説

1 要旨

リンドウの福島県育成品種である中晩生種「ふくしまかれん」及び県内民間育成の早生種「尾瀬の夢」の苗で、定植直前にジベレリンの100ppm及び50ppm溶液を葉面散布し、定植1年目の生育及び定植2年目の茎立ち数と収穫時期、品質に対する影響を調査した。

- (1) 定植直前の苗にジベレリン処理することにより、定植1年目の株で茎立ちする(表1)。
- (2) 「ふくしまかれん」の定植2年目の株では収穫本数が多くなる。これは、50ppm処理よりも100ppm処理でその傾向が大きい(図1)。
- (3) 「尾瀬の夢」は通常収穫まで3年かかるが、処理により定植2年目で収穫が可能となり、切り花長が長くなる(図2)。

2 期待される効果

- (1) 「ふくしまかれん」では定植2年目の収穫量が増加する。
- (2) 「尾瀬の夢」では株養成期間が短縮され、定植2年目から収穫可能となり、切り花長も長くなる。

3 適用範囲

県内リンドウ栽培地域

4 普及上の留意点

- (1) リンドウに対するジベレリンの使用は1回に制限されているので、播種時には種子に対するジベレリン処理は行わない。
なお、種子の休眠打破を行う場合には、種子の冷蔵処理で行う。
- (2) 「尾瀬の夢」では次年度の株養成のため、定植2年目の収穫時には株当たり3本程度残す。

II 具体的データ等

品種	(2001/9/26調査)			
	茎立本数(本/株)	草丈(cm)	節数(節)	茎立株率(%)
ふくしまかれん	100ppm	3.2	8.6	100
	50ppm	2.7	6.4	100
	無処理	0	—	0
尾瀬の夢	100ppm	4.8	8.1	100
	50ppm	5.7	8.8	100
	無処理	0	—	0

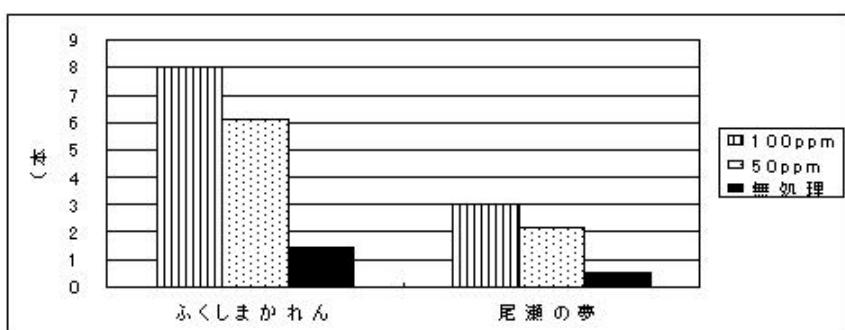


図1 ジベレリン処理が定植2年目収量に及ぼす影響 (2002年)

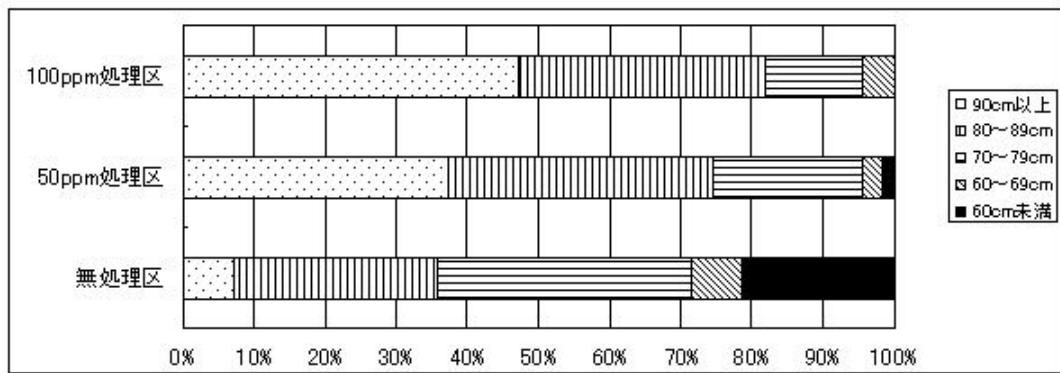


図2 ジベレリン処理が「尾瀬の夢」の切り花長に及ぼす影響（2002年）

III その他

1 執筆者

菅野 清、江川孝二、宗方宏之

2 主な参考文献・資料

なし